

こみゅにけーしょん

宮前区地域教育会議



号数 66号
発行日 2026(令和8年) 2月発行
宮前区地域教育会議 議長 椿 雅美
事務局 宮前区宮前平2-20-4(宮前市民館内)
電話 044-888-3911
編集者 情報部

子ども会議 ～みんなでトーク!みんなでポッチャ!～

令和7年度「宮前区子ども会議～みんなでトーク!みんなでポッチャ!」が、1月11日(日)に宮前市民館で行われました。当日は小学生から高校生まで20名が参加し、学年を超えた交流が生まれました。

前半のポッチャ大会では、ボールが思わぬ方向に転がるたびに歓声が上がリ、温かい雰囲気の中で、自然に声を掛け合って戦術を相談する姿が見られました。

後半は、2つのトークテーマに分かれて話し合いを行いました。

「あなたが校長先生ならどんな学校にしたい?」を選んだチームでは、温かい昼食が食べられる学食、空調やエレベーター、安定したWi-Fi環境など、設備の充実が話題となりました。また、気温に応じた制服や体操着の着こなしや、欠席時でもタブレットで授業を受けられる仕組み、生徒が職員会議に参加できる制度など、子ども自身が考える快適な学校づくりのアイデアが挙がりました。さらに、いじめのない楽しい学校をつくるために、休み時間や給食時間を延ばして子ども同士の交流を増やす、友達をつくる授業を取り入れるなど、子どもならではの視点からの提案がありました。



「あなたが区長ならどんな町にしたい?」を選んだチームでは、宮前区の豊かな緑を守り、野生動物への配慮を大切にしたいという意見が出ました。また、高齢者にも子どもにも暮らしやすい町をめざして、意見箱の設置や地域交流の場づくり、災害時のわかりやすい情報発信、安心して遊べる屋内運動施設の整備、AIを活用したまちづくりなど、幅広い提案が寄せられました。「きれいな宮前区」をテーマにしたグループでは、ごみ問題や公園の衛生環境を改善する必要性などについて議論し、清掃イベント等を通して住民同士が助け合う町にしたいという意見が共有されました。

最後に区長から「人と人のつながりはまちづくりにとってとても大切。今日出た意見は、宮前区をよりよくしていく大切な視点です」との講評があり、地域活動への参加や、課題の背景にも目を向けて考えてほしいとのメッセージが伝えられました。



区長もポッチャに参戦!

「教育を語るつどい」開催 ～脳と心の使い方を学び『ご機嫌な自分』へ～

令和8年2月1日(日)、宮前市民館において「教育を語るつどい」を開催しました。今年度は、シンク・エイ株式会社代表取締役の松本浩氏を講師にお迎えし、「『ご機嫌な自分』に変わる!メジャーリーグも実践する脳と心のシンプルな使い方」をテーマにお話しいただきました。ビジネスやスポーツだけでなく、子育てや良好な人間関係を築くうえでも役立つ内容ということで、当日は定員を超える66名が参加しました。齋藤区長もあいさつのなかで、趣味のゴルフに活かせるのではないかと興味を示されている様子でした。

松本氏のご講演では、脳と心の仕組みをうまく活用することで、実現したいことや「ありたい姿」に近づけることを、誰にでも実践できる形でわかりやすく紹介されました。また、参加者同士で意見を深めるグループワークも行われ、活発な対話が行われました。休憩時間になっても話し合いが途切れず、グループごとに笑顔と気づきが広がっているようでした。

休憩後には、実際に自分自身のゴールを設定する時間もあり、参加者はわくわくしながら未来の姿を思い描きました。講演の終盤では、ゴールを実現させるためには「セルフトーク」が非常に重要であること、そしてその「セルフトーク」には親をはじめとする周囲の人の言動が大きな影響を与えるというお話が印象的でした。子どもや自分自身にどのような言葉を投げかけるのか—その積み重ねが将来の自己実現につながるという視点は、子どもとの関わり方や自分自身の今後の生き方を見つめ直す大きな学びとなりました。



理想を叶えるためのヒントが詰まった2時間はあっという間に過ぎ、多くの気づきをもたらす有意義な時間となりました。参加者からは「前向きな気持ちになれた」「今日から取り組んでみたいと思うヒントが得られた」「自分自身を振り返る時間になった」などの声が寄せられ、充実したつどいとなりました。



交流会 ～ポッチャ大会～

11月8日(日)宮前市民館大会議室で各中学校区からの代表や運営委員会メンバーを中心とした交流会が行われました。今年度も昨年度に引き続き、体験を通して地域のつながりを深めようと、「ポッチャ」を行いました。「ポッチャ」は年齢や性別、障害の有無に関わらず誰でも楽しめる競技です。3名1組のチームは当日のじ引きで決められ、他の中学校区の方と協力できるようになっていました。地域教育会議のメンバーだけでなく一般の方も参加し、総勢27名でのポッチャ大会が開催されました。8チームが4試合ずつ行い、勝率やポイントで順位を競いました。はじめは「思ったところにボールが転がらない」との声が上がっていましたが、



試合が進むうちに少しずつボールの扱い方に慣れていく様子が見られました。相手のボールを弾き飛ばして遠ざけたり、相手ボールを飛び越えさせて自分のボールを近づけたりするナイスプレーが続出し、拍手や歓声が上がりました。チームで考えた作戦が成功し、ハイタッチして喜び合うなど仲を深めていました。



講師としてお越しいただいた「公益財団法人川崎市スポーツ協会」佐藤氏からは基本的なルールや投げ方、考えられる作戦などをアドバイスしていただきました。試合後の講評では、「ポッチャは戦略的な競技ですが、投げ方を覚えることで取り組みやすくなります。ぜひ続けて親しんでほしい」と話されていました。椿議長は、「楽しみながら交流を深めることができました。今後もみんなで協力しながら地域を盛り上げていきたい」と地域教育会議に対する思いを語っていました。最後には、笑顔で写真撮影。中学校区の枠を超えて交流を深めることができました。



講評では、「ポッチャは戦略的な競技ですが、投げ方を覚えることで取り組みやすくなります。ぜひ続けて親しんでほしい」と話されていました。椿議長は、「楽しみながら交流を深めることができました。今後もみんなで協力しながら地域を盛り上げていきたい」と地域教育会議に対する思いを語っていました。最後には、笑顔で写真撮影。中学校区の枠を超えて交流を深めることができました。



中学校区地域教育会議の活動紹介

宮前区地域教育会議では、8中学校区それぞれ独自の活動を展開しています。今号では、有馬中学校区の活動を紹介します。

有馬中学校区

議長 川越 健司

重要方針～地域の教育力の向上に向けて～

- 1 より多くの地域住民が参加しやすい環境を構築する。
- 2 地域の子どもに関心を向け、子どもや青少年が、明るく、豊かで希望のある未来の創造者として成長できるよう、地域の大人が範を示しながら、交流を通じて支援してゆく。
- 3 大人自らが、地域の町づくり活動や生涯学習の実践などを通して、学び成長してゆく場とする。

こども会議

令和7年9月に西有馬小学校にて、川崎北高校の生徒も参加して「こども会議」を行いました。西有馬小学校・鷺沼小学校・西有馬小学校それぞれの子どもたちが自分たちの願いについて発表し、続いて小学校区ごとに子どもと地域の方と一緒に取り組みたいことを話し合いました。

たまかん祭

令和7年11月に有馬中学校にて、「たまかん祭(有馬中学校PTAバザー)」に参加しました。今年度は「射的コーナー」を企画していましたが、雨天のため実施できず、割りばし鉄砲キットを配布しました。

講演会

令和7年11月に鷺沼小学校にて、鷺沼小学校・有馬中学校卒業生のSUKE3がチームを組む「SUKE3 & SYU」を招き、アクロバットショーを開催しました。音楽に合わせてさまざまな技を見た後は、大道芸体験コーナー。子どもたちがSUKE3の肩に立ち、思い思いのポーズを披露しました。

そのほか、広報誌「グリーンネット」の発行や、夏季地域パトロール・中学校の職場体験学習への協力などを行いました。



お知らせ

令和8年度 宮前区地域教育会議総会・全体会

令和8年7月8日(水) 18:00開始予定 会場:宮前市民館 大会議室

住民委員 メンバー募集!～みんなで、無理なく、できることを!～

「子どもたちのために何かをやってみたい」「地域とのつながりをつくりたい」という方、まずはできることから一緒に活動してみませんか?

お問い合わせ

宮前区地域教育会議(宮前市民館内 担当:徳原) 電話044-888-3911 FAX044-856-1436